

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川 碩心会 発行

現在会員数  
2年10月 162名  
返子地区 264名  
葉山地地区 46名  
大船地区 472名  
(合計)

2年10月号 (219号)  
発行 者 萃  
根 岸 岳  
編 集 者 岳  
中 村 愛 岳

## 四段の審査を前に想う

若葉支部 波田礼泉

詩吟の門をくぐり早や二年六カ月余、第四回目の審査の日を前に感慨無量：振り返り改めて才月の去り行く早さに驚きを感じます。

「知る程に吟の深さに魅惑され」

これが私の今の心境です。無我夢中で生きてきた人生を吟にふりむけ、余生を吟と共にと思ひ心と裏腹に、気がついた時は遅しなように思ひましたが、私の人生はこれからだと思ひ、二歩、三歩と歩き出して詩吟の巾の広さを知り、且つ奥の深さは余く想像外でした。

歴史の流れ、時代の人物、状況、人の心の中の勉強、又風景を心に描き出すことのできる最高のものであると思ふようになりました。

これは偏に千葉先生の御指導の賜であり、感謝すると共に、二つにはお稽古の時、先輩の吟を聞くことが出来るのが、何より耳からの勉強であり、伴せな立場と思ひます。この度の審査吟三題も、それぞれ心に深く感じるものであり、人生勉強そのものであると思わずにはられません。

過日勉強の折、先生の吟じられた素晴らしい吟「勸学の文」を聞き終った瞬間、溜息：「歳我と延びず嗚乎老いたり」と：私は思わず心打たれる。発声が駄目、力強さが無いことと、自分自身解ってはいながら、思ふように吟じる事の出来ない悲しさを感じます。

せまる審査の日には四回目らしい吟に近づく事が出来ますようにと、こおろぎの美しい声を耳にしながら折る毎夜です。

奥伝合格 (平成二年十月一日付)

おめでとうございます

258 上村祥風 伊藤劫風 292 安田好風  
294 市川邦風 石川浩風 297 柴山雪風  
301 乙津喜風 302 齊藤和風 303 大山政風  
304 加藤雪風 305 小坂青風 306 鈴木梢風

### 朗詠集力セットについて

◎ 頒布予約について  
総本部企画制作の「朗詠集」教本のカセットテープが販売されましたので、左記により注文の予約をいたします。

一、A面十六首、B面十四首吹き込み

一、価格、一本三、〇〇〇円

一、予約方法、十月三十一日までに各支部でとりまとめ、総務部長まで申し込んで下さい。

◎ 行事予定

◇第24回葉山町文化祭 10月21日(日)10時より

詩吟詩舞の会 葉山町福祉文化会館

◇第40回返子市文化祭 11月3日(祭)

詩吟詩舞発表会 返子図書館ホール

◇碩心会 11月18日(日)

大船地区温習会 戸塚労働研修センター

(県本部関係)

◇県本部第46回 10月21日(日)9時より

吟道大会 海老名市文化会館

◇県本部高段者 11月23日(祭)

(七・八段) 受付9時より

審査課題講座 開講9時30分、12時

八段 受付12時より

開講13時、16時

◇県本部高段者

(皆伝以上)

審査課題講座 11月25日(日)

講習料千円・吟道手帳・審査課題テ

キスト持参・弁当は自前

◇県本部 11月24日(土)6時30分より

納吟会・理事会 返子図書館ホール

一寸訂正

会長 根岸岳萃

「ちょっと一言」について何か勘違いしていられるので一筆します。申すまでもなく、碩心会の上部には県本部、総本部があり、その指導により運営されることは論をまつまでもない。吟法に於ても然り。故に熱心な指導者は、県本部、総本部の講習会にも出席され、勉強されております。

しかし数多くの講習会に出席して、ブラス面のみというわけにもいかない。例えば、和歌の朗詠にしても、総本部では「伊豆の海・源実朝」と吟題を詠み、県本部では「和歌・箱根路を・源実朝」と詠ずる。しかし県本部で勝手に吟題の呼びをして、統わけではなく、総本部にお伺いをして、統一は強制はしないとの回答を得て、総本部の了解のもとに、県本部方式を採用している。吟法にしても講師の個人差があり、仲々完全統一は出来ない。多少の違いも生じて来る。いきおい受講生には疑問が生まれる。そこで疑問を持ったまま指導に当られては困るので、碩心会の講習会の折、その疑問をどんどん質問していただいで、二本出来てしまった道を一本に統一して指導して

いただくようにしています。

特に当会には、長い間祖宗範に指導を受けられた松井洋先生がいられる。松井先生は何時にも、祖宗範に直接指導を受けた私は、木村先生の吟法も含め、吟道精神を後進に伝えることを使命と思っている」と云われています。このような松井先生のご意志をふまえて、皆さんの疑問に対して、当会のお答は相応に価値あるものと考えて下さい。

総本部では、本年度より、全国的に流統の統一という事で、松井先生を委員長に、吟道研究委員会が発足して、吟符等の見直しをして戴くことになりました。そして、訂正されたものを教材部長として、私が広く発表出来ることを期待しております。

指導者が自信をもって指導に当られ、教場の中が楽しく運営されることを期待致します。

俳句

石渡桂岳

宵宮のさわめき遠くいわし雲

銅葺きに秋光あつめ札所建つ

南部越岳

連なれる礁のしぶき秋気満つ

響ると見て又霧かかる谷戸の朝

## 全国大会・吟行会を終えて

(十月七日～九日)

(合吟コンクール全国一位)

十人一組の合吟コンクールに全国から30組が参加。出吟番号1番をひいた、わが神奈川県本部横南吟道会が全国一位とは…。

1位 神奈川県本部横南吟道会

2位 福島岳風会

3位 岳風会愛知連合会

(以下努力賞)

4位 神奈川県本部湘南吟詠会

5位 三重岳仁会

6位 青龍吟道会(東京)

(最多参加数)

碩心会から、県本部各会の中で最高の42名が参加。又今迄の吟行会の中でも最多数。

(紅葉は天下一品)

台風21号の影響で、七・八日は雨にたたられ、黒部行を九日に変更の願いが叶い、その日は絶好の好天に恵まれ、遠くうつつらと冠雪の山々を望み、紅葉はまさにまっ盛り。みんなで歓声をあげ、気分は最高でした。それにしても高令の方達もきついコースをよくがんばられました。

楽しい吟行記は、紙面の都合上、来月号に掲載させていただきます。

## (全国大会の記念品)

第98回全国大会参加者に、葉書大の額縁に木村岳風先生の写真と、先生自筆の左記の文字の入った記念品が渡されました。その意味は次の通りですので参考までに。

君子慎其独(君子は其の独りを慎む)

聖人の教えの根本をしるした中国の古典四書のうちの「大学」「中庸」の中に出てくることは「君子(徳の高い立派な人)は人前だけでなく、自分ひとりである時にも行動を慎んで、人の道にそむくようなことはしない」との教えである。

## (変更のお知らせ)

◇若葉支部教場山ノ根分館を廃止し(池子老人センター小会議室に変更)

同じく稽古日火曜日を(月曜日12時30分～3時に変更)

◇銀詠支部A組稽古日金曜日を(木曜日7時30分～9時30分に変更)

◇銀詠支部B組稽古日金曜日を(木曜日1時30分～3時に変更)

◇葉月支部A組(金曜日夜9時～11時の担当を三井岳瓏から千葉劔岳に交替)

同B組は従来通り三井岳瓏担当木曜夜葉月支部長は従来通り

## 詩吟こぼれ話

(祭りに参加)

毎年九月初の日曜日、一色森山神社の祭礼が行われ、素人演芸に老人会、婦人会、青年会、子供会、わが詩吟部からも一色A支部、上原支部、詩舞京愛会も参加。全員が和氣藹々と祭りを盛りあげている姿は実に素晴らしい。いつの頃からか、おひねりが投げられるようになったが、それが又何ともほほえましく、舞台と客席とが一体となり、益々楽しい雰囲気を感じさせてくれる。来年も又がんばりましょう。

(電話で稽古)

稽古日から二、三日したある日、電話がかかり「先生この間の○○一生懸命家でやってみたんですけど仲間うまくいかないんです。ここはこれでいいですか。聞いていたとけますか」と。「ではやってみて」と電話で稽古。熱心さが伝わってきてとても嬉しく思えました。

(新しいカセット)

ある日突然、生徒さんが「先生、今度新しいカセットを買ったので、記念にまず先生に吹き込んでもらいたい」とカセットとテープを持参された。私は上手ではないが、その気持の嬉しさに心よく引受けました。